

令和7年度 森林環境譲与税の使途の公表について

1 令和7年度森林環境譲与税
1,44,611,000円

2 令和7年度使途及び事業内容

区分	取組名	(9) 事業総額 (円) 【決算】				当年度基金への積立額 (円)	事業内容
		(A) + (B) + (C)	(A) うち森林環境譲与税	(B) うち基金取崩額	(C) うち他の財源		
意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林情報デジタル化推進事業	62,298,031	62,298,031		0		航空レーザー測量及びその解析により森林情報のデジタル化を推進し、森林調査業務等の効率化・省力化を図り、森林整備を円滑に推進する
意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	林地台帳管理システム保守	1,089,000	1,089,000		0		林地台帳の整備、更新を行う
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理計画事業	23,062,421	23,062,421		0		森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、経営計画作成を民間事業者者に委託
私有林整備	森林経営管理計画事業	464,200	464,200		0		集積計画を作成した民有林のうち、民間事業者へ再委託できなかった市有林の間伐等
私有林整備	民有林造林事業	26,993,983	26,993,983		0		国庫補助対象の造林事業（新植～保育間伐）に対し嵩上補助（15%、32%）、また、補助対象外の造林事業に対し6割の支援を行う
林道・林専道の整備等	路網整備事業	30,697,700	30,697,700		0		森林施業の効率化を行い、施業促進するため路網の整備を行う
林道・林専道の整備等	林道、作業道維持管理補助金	4,491,700	4,491,700		0		林道の維持管理を行う管理団体を支援し、林道の適正な維持を努めるとともに、施業を行う予定のある作業道にも助成を行い、適正な森林施業の促進に努める
担い手確保	林業従事者人材確保対策事業	0	0		0		林業従事者を確保するために、事業者のインターンシップに関する助成を行う 将来の担い手への助成として、林業大学校研修生への助成を行う
林業就業者の育成	林業従事者人材確保対策事業	1,000,000	1,000,000		0		新規就労者の定着を図るため、就労者及び事業者に対し1年間の助成を行う
木造公共建築物の整備等	(消防総務課)阿仁分署新築工事	66,552,552		1,620,000	64,932,552		消防分署の新築工事において内装材やカウンター、備え付けベットなどを木質化し、地域産業である林業を少しでもアピールすると共に、木材が持つ独特なぬくもりや癒やしを、職員をはじめ来庁者にも感じてもらえるような庁舎の建設を予定。国産材（できる限り県産材又は市産材）を利用することを設計書に明記している。(R6年度からの2カ年事業)
木質バイオマス利用推進	(生活環境課)住宅用ペレットストーブ等購入補助金	1,000,000		1,000,000	0		住宅用木質ペレットストーブ等の購入費（購入及び設置に要する費用）の一部を助成する。 一世帯あたり1台まで、費用の1/2補助、上限額20万円

森林・林業・木材普及活動等	都市・山村地域 森林交流事業	430,933	430,933		0	友好交流都市である東京都国立市との間で、都市と山村が連携した森林整備事業を実施し、森林・林業の役割や木材利用に対する理解と関心を高める
森林・林業・木材普及活動等	森林体験学習事業	1,157,136	1,157,136		0	人と、森や木との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育てることを目的とし、小学生を対象とした木工教室や森林散策等の森林環境学習を開催する
森林・林業・木材普及活動等	森林・木材活用 地域連携事業	1,785,300	1,785,300		0	地元の高校及び、建築士・工務店等で構成する団体と連携し、高校の間伐実習の場をとしての市有林の活用、及びそこから搬出される木材を用いた木製品を企画・作成し、木育活動として市内の小学生に提供する
その他（木材・普及啓発関係）	森林環境譲与税事業	717,596	717,596		0	市主催の産業祭で森林環境譲与税の仕組みや役割を紹介するとともに木工製作教室を開催し、市民が木と触れあう機会を提供する
基金積立	森林環境譲与税事業			9,577,000	0	当年度譲与額を超える事業費に対し、不足分を基金より充当

■税導入の効果

令和7年度は、904名の森林所有者について意向調査を実施し、その結果、179名の522.70haについて、経営管理権集積計画を作成する意向である旨の回答が得られた。また、前年度の意向調査において経営管理集積計画の意向があった248.30haについて経営管理権集積計画（案）を作成した。

令和6年度に航空レーザー測量を実施した市内12.591haについて森林資源解析を実施し、今後の森林管理や事業計画の検討に必要な基礎資料を整備した。なお、市内全域を対象とした航空レーザー測量は令和9年度、森林資源解析は令和10年度に完了する予定である。

令和元年度に市と協定を締結した「秋田県率秋田北鷹高等学校」と、地元の木材加工業者・工務店等で構成される「秋田スギネットワークたかのす」が連携し、子ども達への森林・林業に対する木育及び普及啓発を図る目的として、令和8年度に小学校へ入学する新入生に配布する木製品「木望ぶろっく」を製作した。

また、「秋田県立秋田北鷹高等学校」の緑地環境科の生徒が実施する間伐等実習の場として市有林を活用してもらうことで、将来の林業の担い手育成を図り、実習で生産された木材は、市産業祭での木工体験や新入生に配布する木製品の原材料とすることで、地元産材の循環・利活用の促進につながった。

令和7年度については、事業実施に伴い当年度の森林環境譲与税額を超過したため、計画的に積み立てた森林環境譲与税基金から不足分（9,577千円）を取り崩して充当した。